

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号 (11) 学校名 豊田市立古瀬間小学校

1 テーマ

地域とのつながりを生かして、心豊かでたくましい『いきいき古瀬間っ子！』の育成

2 ねらい

- ① 各教科、総合的な学習、特別活動に保護者・地域の力を積極的に活用し、地域を愛する豊かな心と仲間や周りの人と温かい人間関係を築き、たくましく生きることのできる力を育む。
 - ・ 地域講師や地域・保護者ボランティア、地域の学習教材等を積極的に活用し、地域に学び地域を愛する心情と態度を育てる。
 - ・ 地域・保護者と古瀬間っ子に願う姿を共有し、平和学習やキャリア教育など豊かな心とたくましく生きる力の育成を図る。
- ② 人とかかわりを苦手とする児童への個別対応の充実を図る。
 - ・ 心の相談員や学生ボランティアとのふれあいを通して心の安定を図り、よりよい対人関係を築くことができるようにする。
- ③ 校舎内外の教育環境の整備を図る。
 - ・ 校内整備員や地域ボランティアによる環境整備を進め、児童が安全に学校生活を過ごし、快適な環境の下で友達とかかわり合い、学習や運動に取り組めるようにする。

3 活動内容

- ① 保護者・地域ボランティアとの連携・協働により、「心豊かでたくましい『いきいき古瀬間っ子！』の育成」を目指したカリキュラムの編成をし、学習活動の充実に生かす。
 - (1) 各教科・総合的な学習・特別活動等で地域講師や地域・保護者ボランティアの協力を仰ぎ、学習活動の充実を図る。
 - (2) 地域の場所や季節の行事、地域が取り組んでいる自然環境の保全整備活動（益富の蛍と環境を考える会）を学習に生かし、地域の良さを知り、地域に積極的にかかわろうとする心情と態度を育む。
 - (3) 地域・保護者ボランティアを活用した読み聞かせや図書館整備を通して、本に親しみ、豊かな心の情勢を目指す。
- ② 心の相談員による児童への支援
 - (1) 心の相談員による相談時間を児童・および保護者に伝え、安心して相談室に来室し、相談を受けることができるようにする。
 - (2) 心の相談員による見守りを通して、精神的な不安のある児童や個別の支援が必要な児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。教室へ入り

づらい児童への対応は、校内はあとラウンジで行う。

(3) 校内はあとラウンジの環境や備品を充実させ、教室へ入りづらい児童が、気軽に利用できるようにする。

③ 校内整備員と地域ボランティアによる環境整備

(1) 校内整備員が校舎内外の修繕を適切に行うことで安全な教育環境を保つことができるようにする。

(2) 校内整備員と地域ボランティアが夏季の運動場及び周辺の草刈りと花壇の整備を行い、安全で快適な環境の下で学習や運動ができるようにする。

4 成果と課題

① 保護者・地域ボランティアと連携した教育活動について

- ・1年生は地域講師の協力により「シャボン玉遊び」を行い、大きなシャボン玉を作ったり、たくさんのシャボン玉を一度に作ったりする遊びを楽しんでいた。「大きなシャボン玉には入って楽しかった」などの感想が聞かれた。昔遊びの学習では、地域の昔遊び名人や保護者ボランティアの協力で、けん玉やめんこ、あやとりなどのやり方を習った。子どもたちが繰り返し練習し、2回目に見ていただいた時には、ボランティアの方から「何度も練習しているみたいだね。前よりもうまくなったね」など声をかけていただくこともあった。
- ・4年生は総合的な学習の時間に、環境学習をする際に、地域で活動している蛍友会（益富のホタルと環境を考える会）の方を講師としてお迎えしてこの地区のホタルの生育環境を守っていくためにできることを学んだ。自分たちができることは何かを考え、地域のごみ拾いをしたり、段ボールコンポストに挑戦して有機肥料を作ったり、公園にポイ捨て禁止のポスターを掲示したり様々な活動を広げることができた。
- ・6年生は里山学習として里山に関する学習を総合的な学習の時間に行った。里山学習では事前に、この地域の歴史について詳しい方に講師として来ていただいて話を聞いた。古瀬間地区の歴史を学んだあとに、実際に里山の中を歩くことでより興味深く歩くことができた。大きな岩や遺跡があることを知り驚いていた。また、6年生は、地域の方からの紹介で壁画家として活躍されている方に講師として来ていただき、戦争に関する手記、紙芝居などを通して平和学習を行った。真剣に学ぶ子どもたちの姿が見られた。
- ・読み聞かせボランティア「お話の森」による読み聞かせ、図書館整備ボランティアによる図書館の整備は、児童が本を好きになり、豊かな心を育むきっかけとなっている。

② 心の相談員による児童への支援

- ・不安感が強く、教室に向かえない児童に対して心の相談員が相談室で寄り添い、励ますことで少しずつ教室に向かうことができるようになってきた。校内はあとラウンジの環境や備品を整備し、不登校傾向の児童や教室に入ることと不安のある児童が学校に来るきっかけとなる環境づくりを行った。

③ 校舎内外の環境整備について

- ・校内整備員による運動場周辺の草刈り、周辺の植木の剪定、落ち葉掃除などの環境整備に取り組んでいただいた。創立 150 周年を来年度に控えているので、計画的に校舎内外の環境整備を校内整備員と進めていきたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・地域と連携した教育活動の取組を随時、ホームページに公開した。(合計 33 回) 学校だよりでも活動の様子を紹介した。また、学習発表会では生活科や総合的な学習について保護者や地域関係者に参観していただいた。
- ・学校評価の保護者アンケートでは「特色ある教育活動を行っているか」は平均点 3.3 (とても良い 28% 良い 63%) で好意的に受け止めている保護者が多い。今後も保護者、地域と協力しながら、地域とともに子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育んでいきたい。